

Challenge More Spirits

日本の次世代リーダー養成塾 参加への意気込み

第84号



今回のチャレンジ・モア・スピリッツでは「日本の次世代リーダー養成塾」に参加する2年生逢坂勇矢さんに話を聞きました。

——日本の次世代リーダー養成塾とは

逢坂 日本の次世代リーダー養成塾は、地方自治体と経済界がスクラムを組み、全国の志の高い高校生約150人を対象に、日本だけではなく、世界を舞台に挑戦をする人財の育成を目指したサマースクールです。

自国や近隣諸国の歴史や文化、一般教養を身につけ、多様性を認めることができる国際人になるための素養を磨くことを目的としています。

一流の講師陣と高校生が熱い議論を交わす合宿生活から得られる衝撃や感動、数多くの発見やかけがえのない出会い、をコンセプトに行われています。

今回が第22回であり、福岡県と佐賀県を移動しながら、12日間のプログラムで実施されます。

——参加した理由は？

逢坂 高校生の間に何か大きなことに取り組みたいと考えていたからです。リーダー塾は期間も長いため挑戦するか悩みましたが、やらないで後悔したくないと思いついて参加を決めました！

——楽しみにしていることはある？

逢坂 グローバル・ハイスクール・サミットという企画が楽しみです！事前課題があり、その課題について議論、発表、振り返りをする企画で、深く議論する機会も貴重なので楽しみにしています！

講師にアメリカのバイデン大統領と岸田総理の会談に参加された方がいて、その道の凄い方のお話を聞き、仕事の流儀やどのように遂行しているのかを学びたいです。

——最後に意気込みを教えてください！

逢坂 参加する前と参加した後で何倍にも成長した自分になれるように、より良いリーダー塾生活を送れるようにしたいです！

勉強や総合的な探究の時間の活動、寮生活に還元できるように頑張ります！

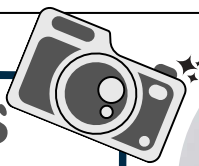
コーディネーターSNS
始めました！



Facebook



Instagram



普段は寮生としても活動している逢坂さん²
沢山学んで今後の学校生活に活かしてくださいね！

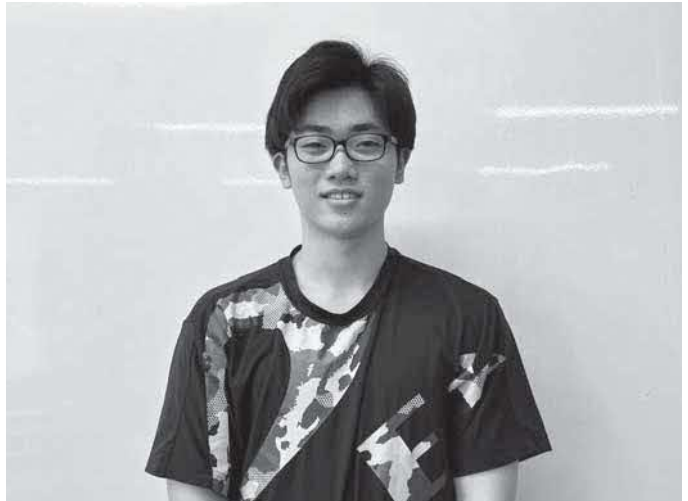
Challenge More Spirits

海外短期留学の話を聞きました！

第85号

7月26日から8月4日にかけてオーストラリアへの海外短期留学を実施し、参加した生徒は語学学校での学習やホームステイ体験、現地の方との交流などを行いました。今回のチャレンジ・モア・スピリットでは、海外短期留学に参加した2年生の夏目稜英さんにお話を聞きました。

夏目さんは祖母が海外旅行に行くのを見て海外に憧れや興味があり、海外のサッカーも好きなので海外に行ってみたいとの思いがあり、参加しました！



成長したところ

ホストファミリーもいましたが自分で生活する感じだったのでひとりで行動しないといけない場面が多かったので、行動力と決断力が身に付きました。

高校生のときに海外に行くことができ本当にいい経験になりました。

楽しかったこと

街を散歩するだけで楽しかったです！街路樹も夕張とは違いますし、建物の造りもおしゃれでした！

いろいろな方がいて現地の人と会話することも楽しかったです！

遊園地に行ってコアラと写真を撮るなどとても充実しました！

大変だったこと

英語がすごく得意ということではないのですが、語学学校でレベルの高いクラスに配属されたので、クラスに馴染むのが難しかったです。

耳は慣れたので言っていることは理解できたのですが、伝えることに苦労しました。



ビーチで撮った
お気に入りの写真！



海外短期留学報告会

今回海外短期留学に参加した5名の生徒による報告会を以下の日程で開催します。実際に学んだことについて直接生徒から報告させていただきますので、ぜひご来場ください！

- 日時：10月10日(金)17時45分～18時30分
- 場所：拠点複合施設りすた

※第84号で取材した逢坂さんによる日本の次世代リーダー養成塾の報告会も実施します。



←この動画で海外短期留学の様子をご覧いただけます！
ぜひご覧ください！

Challenge More Spirits

新生徒会 生徒の笑顔を増やしたい!

第86号

今月のチャレンジ・モア・スピリッツは10月から新体制となった生徒会から、会長の2年生高橋穂花さん、副会長の2年生岩野真琴さん、1年生岡田琉信さんに話を聞きました。



高橋さんと岩野さんは前体制では会計と副会長を務めており、生徒会活動は2年目になります。



左から岡田琉信さん・高橋穂花さん・岩野真琴さん

―生徒会に立候補した理由は？
高橋…生徒の笑顔を増やしたいと思ったからです。

岩野…兄が夕張高校の生徒会長をしていて、私自身も生徒会に所属していました。活動のなかで私は副会長として生徒会長を支えたいと思ったからです。

岡田…中学でも生徒会に所属していたので、高校でも生徒会に入りたいと思っていました。また、1年生を自分が引っ張って行きたいという思いもあり副会長に立候補しました。

―生徒会の活動で楽しかったことは？

高橋…学校行事で生徒の笑顔や楽しいという言葉を聞くと嬉しいです。

岩野…多少のトラブルがあっても行事が行われてみんなが楽しんでいる様子を見ることがやりがいです。

岡田…中学のときに運営したスポーツ大会などの行事です。生徒が楽しんでいる様子を見るとほっと一安心しました。

―生徒会の活動で大変だと感じることは？

高橋…人前に立って話すことが苦手なので少し大変ですが、慣れるように頑張ります。

岩野…中学の生徒会と比べるとやることが多く、準備が完全ではないままのこと

もあったのでミスを減らせるようにしたいです。

岡田…運営することが難しかったです。リハーサルや事前の準備の大切さを学んだので、高校の生徒会活動でも継続していきたいです。

―最後に意気込みを教えてください！

高橋…生徒の思いを形にして、全校生徒が主役になるような学校を作りたいです。

岩野…生徒会だけでなく、先生や生徒を含めて学校全体でより良い学校を作っていきたいなと思います。

岡田…生徒会として今年以上に学校を盛り上げて、魅力のある学校にしたいです。



Challenge More Spirits

陸上競技部での3年間の成長 第87号

今月のチャレンジ・モア・スピリッツは陸上競技部に所属している3年生の青山隼也さん、斎藤未生さんに3年間の部活動について振り返ってもらいました。

青山さんは選手として入部し、令和7年度国民スポーツ大会陸上競技大会北海道選手選考会のハンマー投げで自己ベスト52m65cmを記録しました。斎藤さんはマネージャーとして入部し、ときどき選手としても大会に出場しました。

青山さんの高校最後の大会は11月1日(土)に予定していましたが、悪天候のため中止となってしまいました。

青山さんは大学でも競技を続ける予定です。



青山隼也さん・斎藤未生さん

入部した理由は？

青山：筋トレが趣味で足の筋肉をつけたいと思っていたので、ウエイトトレーニングのある陸上競技部に入部しました。

斎藤：スポーツが好きで、外に出て行う部活に入りたと思ったので入部しました。

楽しかったこと

青山：鹿児島での投てき合宿です。また、先輩と一緒に練習をしているときも楽しかったです！

斎藤：私も合宿です。他校の生徒と一緒に練習することができたり、仲良くなれるので楽しかったです！

得たこと

青山：努力できるようになったことです。努力しなくてもどうにかなると思っていましたが、陸上で結果が出るようになり陸上以外のことも努力できるようになりました。

斎藤：積極的になりました。とても人見知りだったのですが、初対面の人とも話せるようになったと思います。

後輩たちへひとこと

青山：自分から他の人に話しかけに行くことが大事だと思います。人見知りでも人に話しかけることができますし、勇気を出して話しかけたら友達もできますし、気付きも多く自分の成長につながるのだから、強くなれると思います。

斎藤：やると決めたら最後までやること、油断すると痛い目を見らと思うので、何事も集中して真面目に取り組むことが大事だと思います！

コーディネーターのInstagramでは以下のような話も聞いているのでぜひご覧ください！！



- ・好きな競技場
- ・辞めたいと思った時のこと
- ・ハンマー投げを選んだ理由
- ・選手とマネージャーの経験



Challenge More Spirits

第88号

おいしい自信
120%



もちっとこめどら

北海道米のスイーツコンテスト 大賞受賞！

3年生就職・専門学校進学コースのグルフリ♡ベイビーズ（渡邊咲来さん、斎藤未生さん、佐藤日女佳さん）が11月19日に行われた北海道経済連合会主催の「北海道米のスイーツコンテスト2025」本審査会に参加し、総合実践の授業で開発に取り組んでいる「もちっとこめどら」（北海道米の米粉と夕張産米のライスミルクを使用したどら焼き）を出品しました。

本審査では審査員の前で企画商品の作成、プレゼンテーション、試食が行われ、審査の結果コンテストの最優秀作品に贈られる大賞を受賞しました。



グルフリ♡ベイビーズのコメント

コーディネーターのInstagramでは以下のような話も聞いているのでぜひご覧ください！！

- ・現在の形になるまで
- ・並行しているプランとの両立など



大賞だと分かったときはとても驚きました。昨年からのチームでいくつかのコンテストに応募し、初めて本選に進むことができた今回のコンテストで大賞を取ることができ本当に嬉しいです。

米粉を使用し、皮がもちっとした食感になるようにこだわりました。商品化されたら多くの方に食べてほしいです！

Challenge More Spirits

札幌学院大学 第5回 高校生ビジネスプランコンテスト / 第89号
出場した全チーム 賞を受賞しました！

12月13日に開催された札幌学院大学ビジネスプランコンテストに就職・専門学校進学コース3年生の3チームが出場し、「鹿肉ベイベーズ」と「おいるふらいズ」の2チームが奨励賞、「ネオサステナブルズY」が優秀賞を受賞しました。

今回のチャレンジ・モア・スピリッツでは、優秀賞を受賞した「ネオサステナブルズY」の杉村葉那さん、中川拳志郎さん、三浦優樹さんに、2年間続けた研究について話を聞きました。「ネオサステナブルズY」は、2年次から夕張メロンの鮮度保持のためのバッグの開発や、バッグをレンタルする流通の仕組みを考察し発表しました。



杉村葉那さん

三浦優樹さん

楽しかったこと

三浦：夕張メロンの鮮度保持の研究は先輩から引き継ぎ行ってきましたが、輸送用の箱を改良することが楽しかったです。先輩方の研究を基に、どのような箱にしたらより夕張メロンを長く輸送できるか考えながら改良しました。

印象に残っているコンテスト

杉村：昨年のイオンエコワングランプリです。私たちは最終審査には進めませんでしたが、最終審査会を見学に行くことができ、全国規模のコンテストを見ることができました。地域と連携するだけでなく、地域から全国に広めるといった視点をすることができました。また、道外の友達もできました！

大変だったこと

中川：コンテストの応募書類を担当していたのですが、応募書類を作ることが難しかったです。自分たちが行っている研究の進捗状況を言語化し、字数制限に合わせて、伝わるように文章を作ることに苦労しました。



杉村葉那さん・三浦優樹さん・中川拳志郎さん



コーディネーターのInstagramでは他にも色々な話を聞いているのでぜひご覧ください！！

- ・役割分担について
- ・印象に残っているコンテストなど！



後輩へメッセージ

杉村：コンテストなどで他校の生徒にもたくさん声をかけて！

中川：行き詰まったら立ち止まって周りを見る！

三浦：グループのメンバーで協力すること！協力しないと形にならない！

3人から：先生への感謝を忘れないようにしてください！先生がいなかったら本選にも進めていなかったと思います！

Challenge More Spirits

第90号



左から3年生の三浦優樹さん・西川雄大さん・高橋涼矢さん・青山隼也さん・中川拳志郎さん

夕張高校での3年間を振り返って

今回のChallengeMoreSpiritsは3月1日に卒業する3年生を代表して西川雄大さんに夕張高校での学校生活について伺いました。

夕張高校を選んだ理由

夕張高校を選んだ理由は、夕張高校に進学したら自分自身が変われるのではないかと思ったからです。市外の学校や通信制の学校も検討しましたが、先生方の雰囲気よかったこと、少人数だったこと、知っている人が進学することもあり決断しました。大学に進学したいと考えており、普通科を志望していたので、その点でも良かったです。

成長したところ

夕張高校で、周りの空気を読めるようになったり、自分のキャパシティが大きくなったと感じます。

また、もともとはポジティブとは言えない性格でしたが、友人のおかげでポジティブに物事を考えられるようになりました。このメンバーだったので変わることができ、大きく成長することができたと思います。

学校祭の準備



有志発表



総合司会



楽しかったこと

学校生活はずっと楽しかったです。ひとつあげるなら学校祭が印象に残っています。みんなと一緒に準備し、総合司会として盛り上げたり、3年生では生徒会として運営もしました。忙しかったですが、生徒会企画でもやりたいこともできて本当に楽しかったです。

コーディネーターのInstagramでは以下のような話も聞いているのでぜひご覧ください!!

- ・進路について
- ・学んだこと



Challenge More Spirits

第91号

夕張に来て
1年経ちました!

左から大野紘芭さん 高橋芽さん

こんなに違う!? 夕張高校の生活

住んでいる都道府県の枠を超えて高校を選択し、3年間その地域で学ぶ地域みらい留学。今回のChallenge More Spiritsは、夕張高校新2年生で地域みらい留學生の大野紘芭さん、高橋芽さんに話を聞きました。

夕張高校を選んだ理由

大野：北海道の学校に興味があり、地域みらい留学の合同学校説明会に参加しました。そのとき夕張高校のブースにいた市役所職員の方が面白く、「この人達がいる夕張高校ならきっと面白い」と思い、進学を決めました。
高橋：地元から離れて生活したいという思いがあり、沖縄か北海道で探しました。寮が綺麗で学校と近いこと、英語教育に力を入れていることに惹かれて夕張高校にしました。

印象に残っていること

高橋：先輩との距離感の近さに驚きました。中学では「〇〇先輩」と呼ぶことが普通だったのですが、夕張高校では名前と呼ぶことが多く、最初は慣れませんでした。
大野：文化が全く違うことに驚きました。方言やイントネーションの違いも新鮮です。例えばチーム分けの際の掛け声が「グッとパー」ではなく「グッチー」だったことが印象に残っています。



夕張高校でやりたいこと

コーディネーターのInstagramでは以下のような話も聞いているのでぜひご覧ください!!

- ・部活動について
- ・寮生活について



大野：海外短期留学に参加したいです! また、在学中に英検2級の取得を目指しています。

高橋：私も海外短期留学に行きたいです。また、私たちは地域みらい留学のアンバサダーとして活動しているので、その活動も頑張りたいです。